

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	ふわ やすし		
氏名	不破 泰		
所属・役職	信州大学 情報・DX 推進機構 DX 推進センター特任教授		
活動拠点	長野県、その他		
略歴	1983 年 信州大学大学院修士課程工学研究科修了 1983 年 信州大学工学部助手 1992 年 博士（工学）（名古屋工業大学） 1992 年 信州大学工学部助教授 1994 年 米国 Boston 大学 文部省在学研究員 2003 年 信州大学工学部教授 2010 年 信州大学総合情報センター長 2020 年 4 月 信州大学学術研究院（工学系）教授 2021 年 4 月 信州大学理事・副学長		
地域情報化の 専門分野・技術	(分野) ・ 地域情報化全般 ・ 業務効率化（システム導入支援等） ・ 防災／BCP (技術) ・ 情報システム全般 ・ センサーネットワーク ・ オープンデータ ・ Wi-Fi		
専門分野	オープンデータ 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体セキュリティ ネットワークインフラ（Wi-Fi／LPWA／光ネットワーク） 5G マイナンバー 防災 教育情報化／情報教育 RPA導入 個人情報保護 スマートシティ		
自治体向けメッセージ	無線通信技術，センサーネットワーク技術，クラウド技術，オープンデータ技術を中心としたこれまでの研究成果を基に，自治体のニーズをお聴きして，ICTを活用した安全・安心な街作りをお手伝いしたいと考えています。		
関連サイト		http://soar-rd.shinshu-u.ac.jp/profile/ja.yCLhZVkh.html	
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	1983 年 信州大学工学部情報工学 助手 1989-1990 年 名古屋工業大学 文部省情報処理関係内地研究員 1992 年 信州大学 助教授 1994 年 米国 Boston 大学 文部省在外研究員	

		1996 年 ポーランド Bialystok 大学 研究員 2007-2008 年 総務省 SCOPE「自治体全体を網羅する安心・安全な街創りのための高耐障害性アドホックネットワークシステムの開発」研究代表者 2009-2010 年 総務省 SCOPE「Ad-Hoc ネットワークとセンサネットワークを用いた高耐障害性地域災害通信システムの研究開発」研究代表者 2011-2012 年 総務省 SCOPE「地域全体の安全・安心を確保する防災・減災および鳥獣センシングを実現するセンサーネットワークシステムの研究開発」研究代表者 2014-2016 年 総務省 SCOPE「災害状況を遠隔地から把握するセンサーネットワークのための災害に柔軟に対応する通信インフラシステムの研究開発」研究代表者
	これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト	大規模な災害が発生しても稼働し続けることが出来る通信インフラの構築を目指し、電力や通信の有線インフラからの自立と通信機器の一部が被災しても残った機器で通信が維持できる自律を備えた無線 Ad-Hoc ネットワークの開発を行ってきました。また、このシステムを平常時から利用する有用なアプリケーションとして、 ・ 発信機を持った児童の見守りシステム ・ 高齢者見守りシステムや安価なバスロケーションシステム ・ 土砂災害や河川増水を見守るセンサーネットワーク ・ センサーネットワークを利用した農業の高度化 等に取り組んできました。